

会場一体となって盛り上がったスキマスイッチの演奏と、力強いギターが魅了したサスケ(右下) = 第一体育館

晴天 満点 清鐘祭

ハリハリでした スキマスイッチ

チャリティコンサート盛況



五輪関連の質問に × 札で答える(左から) 渡辺、古、板倉の各教職員 = メーンステージ



サスケ 力強く

金沢学院大学・短期大学の清鐘祭は十月十六、十七日、キャンパス内を会場に開かれました。両日とも晴天に恵まれて、学外からも多数の来場者があり、「笑いまっし」のテーマの下、コンサートや講演会、各種展示や模擬店が大にぎわいを見せました。

初日の開会式では、仲谷渉実行委員長、相澤真貴副実行委員長が「笑顔全開で頑張ります。存分に楽しんでください」と挨拶し、石田寛人学長は「二日間を素晴らしい催しにして、お客様に心の底から笑っていただくことを期待します」と祝辞を述べました。体育館のステージで十七日に行われたいずれもデュオの「スキマスイッチ」と「サスケ」のチャリティコンサートには約千二百人が



元五輪選手 渡辺、古、板倉さん講演

目標を達成する喜び得た

「国内外にたくさんさんの友人ができた」「自分で決めた目標を達成する喜びを知ることができた」「苦しいことが多かった分、粘り強くなった」などと話しました。

五輪開催年にちなんだ講演会「オリンピックを語る」は十六日、メーンステージで行われ、元五輪選手の渡辺涼子助教授(バルセロナ・柔道)、古章子講師(シドニー・トラップリン)、板倉美紀職員(バルセロナ・陸上競歩)の三人がオリンピック出場の思い出を交えて、スポーツの素晴らしさを訴えました。



開会宣言する仲谷渉実行委員長(左)と相澤副実行委員長。右は石田学長



熱演の連続で人気を集めたストリートダンスの披露

円で、北國愛のほほえみ基金に寄付されます。メーンステージでは十六、十七の両日にわたって吹奏楽部、邦楽部やロックバンドの演奏、カラオケ、ファッシュショー紹介、ダンス、クイズなど多彩な企画が披露され、大勢



の来場者でにぎわいました。四号館講堂では十七日、第三回日本海デジタルアートコンテストの表彰式「写真」と作品発表が行われました。十六日にはプレゼンテーション実務士の発表会がありまして。(両催しの紹介は次号で)

石田毅士郎 新校長挨拶



挨拶する石田新校長 = 金沢市内

東高校中高連絡会は九月二十七日に金沢地区、二十八日に松任地区で行われ、来年度の生徒募集に向けて同校の特徴をアピールしました。このうち金沢・かほく・羽咋地区連絡会は金沢エクスセルホテル東急で開かれ、

三十七中学校の教員六十人が新しい奨学金制度や募集要項の説明を受けました。十月一日付で校長に就任した石田毅士郎常任顧問が「公立高校長としてできなかったことを私学で実現できるように情熱を傾けたい」と挨拶しました。このあと十一月一日に能登地区、二日に加賀地区でも行う予定です。

後期始業式で訓練士、挨拶を徹底し、ルールを守り、しっかり勉強せよ」と三つの目標を掲げ生徒の奮起を促しました。

発行・広報室